

図書館展示6月●2006年

# 夏の朝の夢

～マーラー：交響曲第3番～



*Gustav Mahler*  
(1860年7月7日～1911年5月18日)

企画●三宅巖 (国立音楽大学附属図書館閲覧参考部)

期間●6月19日-8月4日  
場所●図書館ブラウジングルーム

---

# 夏の朝の夢

## ～ マーラー：交響曲第3番～

来る7月9日(日)第105回オーケストラ定期演奏会(サントリーホール)においてマーラー：交響曲第3番が演奏されることに伴い、マーラー：交響曲第3番についてまとめてみました。皆様の定期演奏会鑑賞の参考になれば幸いです。



### 目次

|                    |   |
|--------------------|---|
| 1. 作曲者の略歴          | 2 |
| 2. マーラーについて        | 2 |
| 3. マーラーと交響曲        | 2 |
| 4. 交響曲第3番          | 3 |
| 5. 作曲地シュタインバッハ     | 3 |
| 6. 標題の変遷           | 3 |
| 7. 第4楽章の歌詞対訳       | 4 |
| 8. 第5楽章の歌詞対訳       | 4 |
| 9. 初演              | 4 |
| 10. 楽譜の出版          | 5 |
| 11. 交響曲第3番のCDこぼれ話  | 5 |
| 12. 指揮者 準・メルクルについて | 6 |
| 展示資料紹介             | 6 |

## 1 . 作曲者の略歴

グスタフ・マーラー (Gustav Mahler) は 1860 年 7 月 7 日、ボヘミアのカリシュトに生まれた。年少の頃から音楽に興味を持ったマーラーは 1875 年にウィーン音楽院に入学しピアノと作曲を学んだ。1878 年にウィーン音楽院を卒業したマーラーはライバツハ、オルミュッツ、カッセルの劇場の指揮者を経て、1886 年ライプツィヒ市立劇場の指揮者に任命された。指揮活動の傍ら作曲を行い、1888 年に交響曲第 1 番を完成。1889 年ブダペストのハンガリー歌劇場監督を経て、1891 年～1897 年ハンブルク市立劇場指揮者に就任。この間、交響曲第 2 番、第 3 番が作曲された。1897 年よりウィーン宮廷歌劇場芸術監督に就任。1902 年アルマ・シントラーと結婚。1907 年ウィーンを去り、アメリカに向かう。ウィーン時代に交響曲第 4 番～第 8 番が作曲された。1908 年交響曲「大地の歌」を完成させる。1909 年よりニューヨーク・フィルハーモニーと 3 年間の指揮契約を結ぶ。1910 年交響曲第 9 番完成。交響曲第 10 番に着手するが完成せず、1911 年 5 月 18 日死去。



Gustav Mahler  
(1860-1911)

## 2 . マーラーについて

上の略歴の通り、生前のマーラーは作曲家としてより、指揮者として著名であった。しかし忙しい指揮活動の間の自由時間すべてを作曲に費やしていた。幼い時から精神過敏、病弱で、躁鬱の気があった。少年時代、マーラーは将来なりたい人物として「殉教者」と答えたという。趣味は「本こそ自分の唯一の友人であり、真の兄弟であり、父であり恋人である」とマーラー本人が言うとおり読書で、アリストテレス、ドストエフスキー、ゲーテ、カント、ニーチェ等古典文学やロマン主義作品、また多くの音楽理論的著作を読んだ。ユダヤ人の両親のもと、ユダヤ人的な環境の中で育ったマーラーは、そこでユダヤ人の開放や同化の過程を、身をもって体験した。音楽で身を立てていこうとした時、彼がユダヤ人だったことは常に大きな障害となった。ウィーン宮廷歌劇場芸術監督に就任する際には、ローマ・カソリックに改宗しなければならなかった。

## 3 . マーラーと交響曲

マーラーの作品は交響曲と歌曲に限られていて、中でも 10 曲(未完成の第 10 番を含めると 11 曲)の交響曲はマーラーの作曲の中心であったといえる。また交響曲と歌曲は密接な関係があり、歌曲集「さすらう若人の歌」と交響曲第 1 番のように歌曲の旋律を交響曲に使用している。

マーラーの交響曲をドイツの音楽批評家パウル・ベッカーは次の四つのグループに分けている。第 1 番～第 4 番(「角笛交響曲」)、第 5 番～第 7 番(純器楽交響曲)、第 8 番、「大地の歌」～第 10 番(後期交響曲)。さらに歌曲との関連を見てみると、第 1 番と「さすらう若人の歌」、第 2 番～第 4 番と「子供の魔法の角笛」、第 5 番～第 7 番と「亡き子をしのぶ歌」「リュッケルトの歌」が挙げられる。

マーラーは交響曲の作曲時に標題をつけていたが、のちに標題のほとんどを取り去っている。(マーラーが当初標題をつけていた交響曲は第 1 番「巨人」、第 3 番「夏の朝の夢」のみ。第 2 番「復活」、第 4 番「大いなる喜びへの讃歌」、第 6 番「悲劇的」、第 7 番「夜の歌」、第 8 番「千人の交響曲」はマーラーのつけた正式の標題ではない。)

#### 4 . 交響曲第 3 番

マーラーが作曲した 3 番目の交響曲。1895 年夏に第 2～6 楽章が作曲され、翌 1896 年に第 1 楽章が書き上げられて完成した。当初全 7 楽章として構想されていたが、第 7 楽章は交響曲第 4 番の第 4 楽章に転用された。全体は 6 楽章からなり、第 4 楽章にアルト独唱、第 5 楽章にアルト独唱と児童合唱、女声合唱が導入される。演奏時間は約 100 分。マーラーの交響曲としても、また通常の演奏会で採り上げられる交響曲としても、最長の曲として、ギネスブックに掲載されている。マーラーの交響曲の中では、演奏時間の長さ、児童合唱、女声合唱が加わる点で、実演の回数は多い方ではない。

#### 5 . 作曲地シュタインバッハ

マーラーは 1891 年にハンブルク市立劇場の指揮者に就任し、1893 年より 1896 年までザルツブルク東方のアッター湖畔のシュタインバッハで夏の休暇を過ごした。1894 年にはこの地に作曲小屋を建てて、6 月から 8 月の間作曲を行うようになった。シュタインバッハでは交響曲第 1 番の改訂、交響曲第 2 番、第 3 番、歌曲集「子供の魔法の角笛」の作曲が行われた。



シュタインバッハでの生活は規則正しいもので、午前中は作曲に専念、午後は近くの森や牧場や湖畔を散策し、夜はドストエフスキー、ショーペンハウアー、ジャン・パウル、ニーチェ等の思想書・小説の読書に当てられた。

#### 6 . 標題の変遷

作曲中マーラーは全曲及び各楽章に標題を付けていた。最終的にそれらはみな削除されたが、作曲者の曲へのイメージとして鑑賞の参考としてそれらの標題の一部を以下に掲載した。

(展示のタイトルの「夏の朝の夢」はその最後の総タイトルの標題によるもの)

##### 標題の変遷 (抜粋)

| 日付     | 1895.初夏         | 1895.8.29           | 1896.6.20/28              | 1896.8.6                           |
|--------|-----------------|---------------------|---------------------------|------------------------------------|
| 総タイトル  | 「幸福な生活 - 夏の夜の夢」 | 「楽しい学問 - 夏の朝の夢」     | 「夏の真昼の夢あるいは<br>牧神の目覚め」    | 「夏の朝の夢」                            |
| 第 1 楽章 | 「森がわたしに語ること」    | 「夏が行進してくる」          | 岩山がわたしに語ること<br>- 夏が行進してくる | 牧神が目覚める<br>- 夏が行進してくる<br>(パッカスの行進) |
| 第 2 楽章 | 野の花たちがわたしに語ること  | 野の花たちがわたしに語ること      | 野の花たちがわたしに語ること            | 野の花たちがわたしに語る<br>こと                 |
| 第 3 楽章 | 黄昏がわたしに語ること     | 森の動物たちがわたしに<br>語ること | 森の動物たちがわたしに<br>語ること       | 森の動物たちがわたしに<br>語ること                |
| 第 4 楽章 |                 | 夜がわたしに語ること          | 人間がわたしに語ること               | 人間がわたしに語ること                        |
| 第 5 楽章 | かっこうがわたしに語ること   | 朝の鐘がわたしに語ること        | 天使たちがわたしに語ること             | 天使たちがわたしに語ること                      |
| 第 6 楽章 | 愛がわたしに語ること      | 愛がわたしに語ること          | 愛がわたしに語ること                | 愛がわたしに語ること                         |

「楽しい学問」はニーチェの著作による。

出典 パウアー＝レヒナーの回想録、フリードリヒ・レーア宛の書簡、パウアー＝レヒナーの回想録、M・マルシャルク宛の書簡  
(出典および標題の表記は「グスタフ・マーラー全作品解説事典」による)

## 7. 第4楽章の歌詞対訳

O Mensch! Gib Acht!  
Was spricht die tiefe Mitternacht?  
Ich schlief! Aus tiefem Traum bin ich erwacht!  
Die Welt ist tief!  
Und tiefer, als der Tag gedacht!

Tief ist ihr Weh!  
Lust, tiefer noch als Herzeleid!  
Weh spricht: Vergeh!  
Doch alle Lust will Ewigkeit!  
Will tiefe, tiefe Ewigkeit.  
(Nietzsche)

おお、人間よ、心せよ！  
深き真夜中が語っているのは何か。  
私は眠ってしまった！ 深き眠りからいま醒めた！  
世界は深い！  
それも、白昼が考えていたよりも深いのだ！

深いのだ、世界の痛みは！  
欲望、これがなおも心の悩みより深くにひそむ！  
痛みは語っている。過ぎゆけ！と  
だが、欲望が欲しているのは永遠！  
深い、深い永遠を欲しているのだ！  
(ニーチェ)

## 8. 第5楽章の歌詞対訳

Es sangen drei Engel einen süßen Gesang  
Mit Freuden es selig in dem Himmel klang.  
Sie jauchzten fröhlich auch dabei,  
Daß Petrus sei von Sünden frei.

Und als der Herr Jesus zu Tische sass,  
Mit seinen zwölf Jüngern das Abendmahl aß,  
Da sprach der Herr Jesus: Was stehst du denn hier?  
Wenn ich dich anseh , so weinest du mir!

“Und sollt ich nicht weinen, du gütiger Gott?  
Ich hab übertreten die zehn Gebot.  
Ich gehe und weine ja bitterlich.”  
(Du sollst ja nicht weinen!)\*  
“Ach komm und erbarme dich über mich!”

Hast du denn übertreten die zehn Gebot,  
So fall auf die Knie und bete zu Gott!  
Liebe nur Gott in alle Zeit!  
So wirst du erlangen die himmlische Freud .

Die himmlische Freud ist eine selige Stadt,  
Die himmlische Freud ,die kein Ende mehr hat!  
Die himmlische Freude war Petro bereit t,  
Durch Jesum, und Allen zur Seligkeit.  
(Des Knaben Wunderhorn)

かわいらしい歌をうたっていたのは三体の天使。  
喜びあふれた祝福の調べが天国に響いていた。  
天使たちはうたいながら嬉しそうに歓声をあげ、  
ペテロさまの罪が許された、と喜んでいました。

主イエスさまは、十二人の弟子と食卓につかれ、  
晩餐をおとりになるうちに、お訊ねになった。  
おまえが どうして ここに立っているのかな、  
よく見れば泣いているようにもみえるのだが。

「泣かずにおられましょうか、こころ寛い神よ！  
わたしは十戒を踏み破ってしまったのです。  
おもてにでて思い切り泣いてしようとしていたのです。」  
(汝、泣くべからずだ。)\*  
「ああ、どうかこのわたくしに憐れみをたれたまえ！」

「十戒を踏みはずしたとおもうならおもうで、  
そこに跪き、神にむかって祈りなさい！  
いついかなるときも神をひたすら愛することだ！  
そうすれば天国の歓喜をその身にうけることになるう。」

その天国の歓喜とは祝福された都のことだ。  
その天国の歓喜、そはもはやかぎりなき喜び！  
その天国の歓喜が聖ペテロさまに授けられた、  
主イエスさまから、人類すべての至福のため！  
(少年の魔法の角笛)

\* はマーラーの付加した部分

(出典および歌詞対訳は「グスタフ・マーラー全作品解説事典」による)

## 9. 初演

- ・ 1896年11月9日、ベルリンにてアルトゥール・ニキシュの指揮(第2楽章のみ)
- ・ 1897年3月9日、ベルリンにてヴァインガルトナーの指揮(第3、6楽章)
- ・ 1902年6月9日、ドイツのクレーフェルトでの全ドイツ音楽連盟第38回音楽芸術祭にて  
マーラー自身の指揮(全曲初演)

## 10. 楽譜の出版

- ・ 1898年 初版(ウィーン、ヴァインベルガー社)
- ・ 1906年 改訂版(ユニヴァーサル社)
- ・ 1974年 マーラー協会全集版(ユニヴァーサル社)

## 11. 交響曲第3番のCDこぼれ話

- ・ 交響曲第3番の演奏時間の一番長いCDはロリン・マゼール指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏(CBS・ソニー、請求記号 XD2744-2745)で110分。
- ・ 1988年公開されたアニメ映画「銀河英雄伝説外伝 / わが征くは星の大海」のオープニングに交響曲第3番の第1楽章冒頭が、またエンディングに第6楽章の最後の部分で使用されている。サウンドトラックに使用されたCDは、原作の田中芳樹のSF大河ロマン「銀河英雄伝説」(徳間書店)の出版社の関連でハインツ・レーグナー指揮ベルリン放送管弦楽団の演奏(徳間ジャパン、請求記号 XD24252-24254)。「銀河英雄伝説」本編もアニメ化されており、サウンドトラックにはクラシック音楽の既成曲が使用されたがその音源はすべて徳間ジャパン(現在徳間ジャパンコミュニケーションズ)のものが使用された。
- ・ フィンランド出身の指揮者エサ=ペッカ・サロネンは1983年9月のフィルハーモニア管弦楽団のコンサートでマイケル・ティルソン=トーマスの代役でマーラーの交響曲第3番を指揮して大成功をおさめ、国際的に注目を浴びるようになった。サロネンは1992年にロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督に就任し、1997年に交響曲第3番を録音している(Sony Classical、請求記号 XD40149-40151)。ちなみにマイケル・ティルソン=トーマスは交響曲第3番を1987年にロンドン交響楽団と録音(CBS ソニー、請求記号 XD24211-24212)し、2002年にサンフランシスコ交響楽団と再録音している。
- ・ イギリスの指揮者でマーラーの演奏が得意だったジョン・バルビローリの死後、マーラーの研究家で交響曲第10番の補筆完成で有名なデリック・クックが、EMIに1969年マンチェスターでのハレ管弦楽団との交響曲第3番の録音を発売するよう求めたが、EMIはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との録音を発売する計画だったので断った。クックは「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との録音は聴いていないが、マーラー演奏の経験が少ない彼らより、バルビローリと長年コンビを組んでいるハレ管弦楽団の方が絶対に良いはずだ」と言って怒った。結局、ハレ管弦楽団の演奏はBBCから1999年に発売され(請求記号 XD42164-42165)、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との録音はTestamentから2004年に発売された(このライブ録音では、第3楽章6分過ぎのトランペットのソロからずっと聴衆のいびきが聴こえる！EMIが発売を諦めたのもこれが原因かも?)。
- ・ ボストン・フィルハーモニー管弦楽団の創設者でニューイングランド音楽院教授のベンジャミン・ザンダー指揮フィルハーモニア管弦楽団の演奏(Telarc、請求記号 XD53443-53445)には、ボーナスCDとして、ザンダー自身による演奏付楽曲分析を収録した「ベンジャミン・ザンダーが語るマーラー：交響曲第3番」が同梱されている。ただし、ボーナスCDの日本語訳は付いていない。ザンダーはこの他にマーラーの交響曲第1番、第4～6番の楽曲分析付CDを録音している。

## 12. 指揮者 準・メルクルについて

今回の定期演奏会の指揮者準・メルクルについて知りたい方は、インターネットでホームページ「ジュン・メルクル - 準・メルクルの楽屋」(<http://homepage2.nifty.com/junmarkl/>)をご覧ください。

### 展示資料

---

#### パネル

ハンブルク時代(1896年)のマーラー

ハンブルク市立劇場指揮者就任当時(1896年)に撮影されたマーラーの写真。

マーラーの弟子ブルーノ・ワルター(1876-1962)

ブルーノ・ワルターは1894年9月にハンブルク市立劇場の合唱指揮者に採用され、交響曲第3番が作曲中の1895年夏にシュタインバッハを訪れている。

ナタリーエ・パウアー＝レヒナー(1858-1921)

ヴァイオリニストだった彼女は20年間にわたってマーラーと親しく交際した。マーラーからの書簡で交響曲第3番の標題を知らされている。またシュタインバッハにマーラーと共に滞在した。

ハンブルク市立劇場

マーラーが1891年から1897年まで指揮者として就任した。交響曲第3番はハンブルクでは初演されなかった。

ハンブルク時代のマーラーの自宅

ハンブルク時代にマーラーが住んでいたピスマルク通り86番地の二階建ての大きな家。

アッター湖畔シュタインバッハ

マーラーは、1893年より1896年までザルツブルク東方のアッター湖畔のシュタインバッハで夏の休暇を過ごした。

アッター湖畔でマーラーが滞在した宿

アッター湖畔シュタインバッハでマーラーが滞在した宿。

アッター湖畔の作曲小屋

1894年マーラーはアッター湖畔に作曲小屋を建てて、6月から8月の間作曲を行うようになった。交響曲第3番はここで生まれた。

初版譜表紙

交響曲第3番の初版楽譜は1898年ウィーンのヴァインベルガー社から発行された。

第3楽章の草稿(一部)

アッター湖畔の作曲小屋でマーラーは朝6時から正午まで交響曲第3番の作曲を行った。

初版譜の64ページ

マーラー自身による訂正の書き込みがある。

## 全曲初演のプログラム

交響曲第3番全曲の初演はハンブルクではなく、クレーフェルトでの全ドイツ音楽連盟第38回音楽芸術祭にて、1902年6月9日マーラー自身の指揮で行われた。

## ナタリーエ・パウアー＝レヒナー宛の書簡

1895年9月2日にマーラーがナタリーエ・パウアー＝レヒナーに送った書簡。交響曲第3番の各楽章の標題が記されている。この時点では第7楽章まで計画されていた。

## フリッツ・レーア宛の書簡に付けられたメモ

1895年8月29日にマーラーがフリッツ・レーアに送った書簡に付けられたメモ。

## 『子供の魔法の角笛』第2集表紙

アルニムとブレンターノが編纂したドイツ民謡集。この中のテキストの一部が交響曲第2番第4楽章、第3番第5楽章、第4番第4楽章の歌詞に使用されている。

## 『子供の魔法の角笛』挿絵

『子供の魔法の角笛』の中のテキストが歌詞として使用されていることから、交響曲第1番も含めた第4番までの四つの交響曲は「角笛交響曲」と呼ばれている。

## 図書

Gilbert Kaplan “ The Mahler album ”

ニューヨーク Kaplan Foundation 1995 請求記号 J81-779

アメリカのキャプラン財団が刊行したグスタフ・マーラーの写真集。マーラーとその家族、家や劇場の写真や、マーラーの肖像画等が掲載されている。

長木誠司著『グスタフ・マーラー全作品解説事典』

立風書房 1994年 請求記号 C58-862

グスタフ・マーラーの全作品を譜例付きで解説した事典。交響曲第3番の作曲過程における各楽章の標題が掲載されている。

ドナルド・ミッチェル著、喜多尾道冬訳『マーラー角笛交響曲の時代』

音楽之友社 1991年 請求記号 C53-198

イギリスのマーラー研究者ドナルド・ミッチェルが著した研究書。歌曲集『子供の魔法の角笛』、交響曲第1番～第4番の分析が掲載されている。

Donald Mitchell “ Gustav Mahler, Wunderhorn years ”

ロンドン Faber and Faber 1975 請求記号 C24-087

『マーラー角笛交響曲の時代』の原書。

船山隆著『マーラー』

新潮社 1987年 請求記号 C43-976

新潮文庫の「カラー版作曲家の生涯」シリーズの一冊。写真入りでマーラーの生涯が述べられている。

日本マーラー協会編『写真集グスタフ・マーラー』

フィルムアート社 2004年 請求記号 J102-251

日本マーラー協会が1981年11月から2ヶ月間開催した「グスタフ・マーラー、生涯と作品の写真展」の内容を抜粋編集したもの。

山田健編『マーラー』

サントリー株式会社 1989年 請求記号 C46-905

サントリーと日本テレビの共催で行われた「サントリー音楽文化展 89 マーラー」のカタログ。

ナタリーエ・パウアー＝レヒナー著、ヘルベルト・キリアーン編、高野茂訳『グスタフ・マーラーの思い出』  
音楽之友社 1989年 請求記号 C46-318

20年間にわたってマーラーと親しく交際した女流ヴァイオリニストの回想録からマーラーについての記述を編集したもの。マーラーから書簡で知らされた交響曲第3番の標題や、シュタインバッハに交響曲第3番を作曲中のマーラーを訪ねたことなどが記されている。

Herbert Killian “Gustav Mahler in den Erinnerungen von Natalie Bauer-Lechner”

ハンプルク K.D. Wagner c1984 請求記号 C13-437

『グスタフ・マーラーの思い出』の原書。展示したページはマーラーの交響曲第3番の標題が記された書簡の写真。

Natalie Bauer-Lechner “Recollections of Gustav Mahler”

ロンドン Faber Music 1980 請求記号 C31-173

20年間にわたってマーラーと親しく交際した女流ヴァイオリニストのマーラーについての回想録。展示したページはアッター湖畔の地図。ふきだしがある地点がマーラーの宿舍の場所。

金子建志著『マーラーの交響曲：こだわり派のための名曲徹底分析』

音楽之友社 1994年 請求記号 C59-188

楽譜・録音・自身の指揮経験など、多彩な資料を駆使してマーラーの交響曲の徹底的な分析を行ったもの。第1章「初期の交響曲」の中に交響曲第3番の分析がある。

金子建志著『マーラーの交響曲・2：こだわり派のための名曲徹底分析』

音楽之友社 2001年 請求記号 J94-344

多彩な資料を駆使したマーラーの交響曲の徹底的な分析の第2弾。第1章「3番の改訂」で指揮者としてマーラーが初版をいかに改訂していったかを詳細に分析している。

Peter Franklin “Mahler, Symphony no. 3” ケンブリッジ大学出版 1991 請求記号 C55-038

“Cambridge Music Handbooks”の一冊。マーラーの交響曲第3番の楽曲分析が掲載されている。

Friedhelm Krummacher “Gustav Mahlers . Symphonie”

Kassel Bärenreiter c1991 請求記号 C54-517

マーラーの交響曲第3番について、楽章ごとに詳細な楽曲分析が掲載されている。

Michael J. Esselstrom “A conductor’s guide to symphonies , , of Gustav Mahler”

ニューヨーク Edwin Mellen Press c1998 請求記号 J96-076

マーラーの交響曲第1番から第3番までの指揮者のためのガイドブック。

楽譜

“Symphonies, nos. 3 and 4”

ニューヨーク Dover 1989 請求記号 H30-111

交響曲第3番、第4番のフルスコア。

“O Mensch gib Acht!”

ウィーン universal Edition 1920 請求記号 F3-095

交響曲第3番の第4楽章アルトリロのヴォーカルスコア。

## 録音資料

クラウディオ・アバド指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、他 1980年録音 請求記号 XD117-118  
ロリン・マゼール指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、他 1985年録音 請求記号 XD2744-2745  
レナード・バーンスタイン指揮、ニューヨーク・フィルハーモニー交響楽団、他 1987年録音 請求記号 XD6767-6768  
エリアフ・インバル指揮、フランクフルト放送交響楽団、他 1985年録音 請求記号 XD11040-11041  
ガリー・ベルティーニ指揮、ケルン放送交響楽団、他 1985年録音 請求記号 XD19539-19540  
ゲオルグ・ショルティ指揮、ロンドン交響楽団、他 1968年録音 請求記号 XD23457-23458  
ゲオルグ・ショルティ指揮、シカゴ交響楽団、他 1982年録音 請求記号 XD24054-24055  
マイケル・ティルソン・トーマス指揮、ロンドン交響楽団、他 1987年録音 請求記号 XD24211-24212  
ハインツ・レーグナー指揮、ベルリン放送管弦楽団、他 1983年録音 請求記号 XD24252-24254  
小沢征爾指揮、ボストン交響楽団、他 1993年録音 請求記号 XD29541-29542  
朝比奈隆指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団、他 1995年録音 請求記号 XD35756-35757  
若杉弘指揮、東京都交響楽団、他 1990年録音 請求記号 XD35766-35767  
エサ=ベッカ・サロネン指揮、ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団、他 1997年録音 請求記号 XD40149-40151  
ジョン・バルビローリ指揮、ハレ管弦楽団、他 1969年録音 請求記号 XD42164-42165  
サイモン・ラトル指揮、バーミンガム市立交響楽団、他 1997年録音 請求記号 XD43784-43785  
ケント・ナガノ指揮、ベルリン放送交響楽団、他 1999年録音 請求記号 XD44711-44712  
クラウディオ・アバド指揮、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、他 1999年録音 請求記号 XD48038-48039  
ピエール・ブレーズ指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、他 2001年録音 請求記号 XD49850-49851  
小林研一郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団、他 2001年録音 請求記号 XD51233-51234  
リッカルド・シャイー指揮、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、他 2003年録音 請求記号 XD53177-53178  
ベジャミン・ザンダー指揮、フィルハーモニア管弦楽団、他 2003年録音 請求記号 XD53443-53445  
小林研一郎指揮、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、他 1999年録音 請求記号 XD54088-54089  
エーリッヒ・ラインズドルフ指揮、ボストン交響楽団、他 1966年録音 請求記号 XD56417-56418

## 映像資料

ベルナルト・ハイティンク指揮、アムステルダム・コンサートヘボウ管弦楽団、他 1983年録画 請求記号 VD2433  
レナード・バーンスタイン指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、他 1972年録画 請求記号 VD2689-2690  
ベルナルト・ハイティンク指揮、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、他 1990年録画 請求記号 VD1925  
「マーラー」 1974年 請求記号 VB826  
「ヤング・ピープルズ・コンサート16 グスタフ・マーラーの魅力」 1993年 請求記号 VB1805  
「グスタフ・マーラー」 1988年 請求記号 VD73  
「モーリス・ベジャールと二十世紀バレエ団の芸術」 1990年 請求記号 VD1160  
“Conducting Mahler” 2005 請求記号 VE1238  
“Attrazione d amore” 2005 請求記号 VE1239

## その他の参考資料

福井鉄也写真、岩下真好文「マーラーその交響的宇宙」音楽之友社 1995年 請求記号 C60-134  
ヴォルフガング・シュライバー著、岩下真好訳「マーラー」音楽之友社 1993年 請求記号 C57-992  
「マーラー：音楽の手帖」青土社 1980年 請求記号 C31-005  
ヘンリー・H・リー著、渡辺裕訳「異邦人マーラー」音楽之友社 1987年 請求記号 C44-102  
三枝成彰著「大作曲家たちの履歴書」中央公論社 1997年 請求記号 C61-885

図書館展示 6月 2006

夏の朝の夢  
～マーラー：交響曲第3番～



展示パンフレットは図書館ホームページからも入手できます。(バックナンバーも公開しています。)

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

2006.6.21 編集 国立音楽大学附属図書館広報委員会:高田涼子・三宅巖